

古の面影伝える浦道・参道・路地・浜の道。
観るほど、聞くほど、歩くほど、この「まち」が好きになる。

地区別《まち歩きモデルコース》

★距離と時間は「めやす」です。

A 一時一景にやすらぐ《真野浜コース》

真野浜 遠浅・きれいな水で有名。水泳シーズンには、市内・京阪神からの家族連れでにぎわう。平安末期の武将・源頼政は「近江路や真野の浜べに駒とめて比良の高嶺の花を見るかな」と詠んでいる。

高浜虚子句碑 「このあたり真野の入江や瀬川舟」虚子(1874~1959)は、明治から昭和にかけて活躍した俳人・小説家。

比良山系を背に、弧を描き彼方へとつづく松並木、白沙の浜。時を忘れさせてくれる小波のファンタジア。真野浜は、いまま古歌に詠われた風情そのまま、美しく麗しくやすらぎにあふれている。普段おだやかなその浜も夏は一変、人気の遊泳場に。多くの人々が雄大で清々しい風景に惹かれて訪れる。一時一景、美しくうつろう湖国の四季を満喫してください。

至高島
至JR堅田駅
至湖西道路真野堅田IC

びわ湖の水運・漁業・湖上関を支配し、自治の都市を築いた 堅田衆(湖族)の本拠地 《本堅田コース》

十六夜公園 芭蕉「堅田十六夜の弁」の碑がある。
都久夫須麻神社 弁財天を祀る。
城山三郎文学碑
湖中句碑
桜並木
おとせの浜 平治の乱の際、源氏の旗を最後まで護り通した堅田おとせの片腕が流れたという浜。
伊豆神社(堅田大宮) 平安時代前期の創建。堅田地域の総社で、堅田衆はここに「宮座」を成立させ団結した。湖上支配、自由都市堅田浦の本拠地。
寿寧寺 鎌倉時代の作風をもつ「半伽思惟弥勒菩薩坐像(夢見観音)」がある。
湖族の郷資料館 堅田の歴史・文化の紹介と情報発信の総合拠点。様々な資料展示室に加えお土産コーナーも。また、希望によりボランティアガイドも。
本福寺 法難を逃れた蓮如が一時本願寺を置き再興の拠点とした。3代目法住は、蓮如を護り真宗復興を果せた人物。11代明式・俳号千那は芭蕉を初めて近江へ招いた人物。「病雁の…」の句碑がある。
妙盛寺 湖底から出現したという本尊観世音菩薩、天正17年作の「天正の六地藏」がある。
神田神社 中世「西ノ切宮」と称した。京・下鴨神社とは「御厨」を通じて特に縁が深い。

浮御堂(満月寺) 平安時代の中頃、観山横川の僧都源信が開く。その後荒廃、元禄時代近くになり大徳寺の僧によって修復され、以降禅寺になった。広重の近江八景「堅田落雁」で知られる。「鑿明けて・・・」「比良三上・・・」の芭蕉句碑がある。

住初家 堅田の誕生以来、支配者として活躍した殿衆の筆頭家首。茶室「天然図画亭」がある。

三島由紀夫文学碑
堅田藩陣屋跡
北向地蔵
川村家
宝井其角寓居跡
光徳寺 堅田源兵衛の頭蓋骨が伝わる。岡本一平文学碑がある。
院内道 平安時代。徳天皇の妃紀静子が通った道という。
北村幽安墓所 堅田の農士で茶人。藤村麻軒と居初家の茶室を造った。魚料理「幽安焼き」を發明。
院内道 平安時代。徳天皇の妃紀静子が通った道という。

至JR堅田駅
至湖西道路真野堅田IC
至JR堅田駅
至湖西道路真野堅田IC

B びわ湖最狭部、船大工の故郷 《今堅田コース》

今堅田は近世の時代、出来島(でけじま)に集住していた船大工が信長や秀吉から朱印状を得て造船王国を築いたところ。以来、昭和の中頃まで、浜治には船屋(造船所)が立ち並び、船釘を打つ軽快な音が鳴り響いていたという。今も折時、伝統を受け継ぐ船大工の末裔が船づくりにいそしむ姿が見える。また古くは南北朝の時代、愛する夫(ひと)武将新田義貞(にたよしざだ)を戦で亡くし、その悲しみに耐えきれず自ら湖底に身を沈め後を追った女官「勾当内侍(こうとうないし)」が眠るところでもある。近年、今堅田での人気スポットとも言える小さな木づくりの灯台。湖上の安全を願い連夜明かりを灯すその姿は愛らしくたくましい。ロマンチックで懐かしく、どこか哀愁さえも感じさせる今堅田で思い出に残るまち歩きを。

出島灯台 船大工の本拠地、出来島の浜先に建つ高さ約8mの木製の灯台。明治8年に設置された。

半身地藏(伊庭家内) 線香の灰が皮膚病に効くという。

伊豆神田神社 平安時代前期、稲を司る伊豆神社・神田神社それぞれを合祀し創建された。

円成寺 開山は、海蔵寺と同じ守真による。

勾当内侍廟・野神神社 南北朝時代。越前の戦場で自害した武将新田義貞の愛妻・勾当内侍を祀る。野神神社は、内侍没後150年に内侍を祭神として建立された社。

泉福寺 伝教大師の開山。かつては比叡山三千坊の一つで湖西随一の霊場と云われた。勾当内侍の菩提寺

海蔵寺 江戸時代初期。守真という僧が開いた曹洞宗寺院。境内に開祖道元禪師の歌碑がある。

竹内家 近世の時代。今堅田の浦方・村方を差配していた船道郷士の家柄。

福聚院 南北朝時代。大燈国師の弟子・海岸了義が開く。

智鎮神社 漁師仲間の守神。

小番城 琵琶湖漁師の本拠地。

淡水真珠養殖場

観光駐車場
180m 2分
妙盛寺
80m 1分
神田神社
150m 2分
寿寧寺
150m 2分
おとせの浜
220m 3分
浮御堂
120m 1分30秒
伊豆神社
80m 1分
堅田藩陣屋跡
50m 40秒
都久夫須麻神社
20m 15秒

出町
本町

至JR堅田駅
至湖西道路真野堅田IC

D 古代遺跡と伝説の郷 《衣川コース》

マップの4つのまちのなかで、最も早く開かれたのが衣川の地。まちには、5世紀代からの古代豪族の古墳をはじめ飛鳥時代にさかのぼる巨大寺院跡、大友皇子を祀る社や授子安産・産業祈願の社などが伝えられる。また、地名の起りや壬申の乱、大友黒主などにまつわる秘話も数多い。さらに、北国街道の宿場として栄えた歴史も見える。

春日山古墳群 5世紀代から7世紀前半に築造された200基以上の古墳が見える。古代豪族大春日氏の居住地。国史跡指定。

天満神社 室町時代。安土観音寺城の菅原道真像を遷座したのが起り。

鞍掛神社 壬申の乱で敗れた大友皇子が境内の柳の木に鞍を掛け、自害したことから神社の名が起ったという。社殿は平安時代に惟喬親王の子、兼覽王が建立。「堅田船の包み焼き」の伝説も。

西羅古墳 5世紀後半に造られた。帆立貝式古墳といわれ湖西三大古墳の一つ。

梅宮神社 鎌倉時代。京の梅宮大社の分霊を勧請し創建された。授子安産・酒造・農林業の神として崇敬を集める。

円成寺 もと天台宗寺院。室町時代、浄念住持の代に浄土真宗へ改宗。

衣川廃寺跡 飛鳥時代中期から造営が始まったという県下最古の寺院跡。

稲荷神社

梅宮神社参道

緑の回廊 樹木のトンネルが続く散策の道。

北部地域文化センター 北図書館

東洋紡研究所

丸成寺
衣川廃寺
梅宮神社
西羅古墳
鞍掛神社
天満神社

観光駐車場
30m 30秒
東洋紡の木
500m 7分
天神山緑の回廊
500m 6分
丸成寺
500m 6分
梅宮神社
140m 2分
衣川廃寺
140m 2分
西羅古墳
420m 5分
鞍掛神社
420m 5分
天満神社
340m 4分
よのみの木
500m 7分
観光駐車場

本町
至JR堅田駅

至JR堅田駅
至湖西道路真野堅田IC